



伊野-INO-

~やって未来こい!

いの ENO暮らし2030~



発行：伊野コミュニティセンター

〒691-0072 出雲市野郷町 492-5
Tel: (0853) 69-1526 Fax: (0853) 69-1530
E-mail: ino-cc@local.city.izumo.shimane.jp

伊野コミュニティセンター
ホームページ



伊野地区自治協会
ホームページ



伊野地区自治協会
Facebook



伊野地区情報発信部会
Instagram



一伊野地区の人口一
(R6.7月末現在)

男性… 550人
女性… 592人
合計… 1,142人
世帯数… 415世帯

伊野バージョン バージョンいかにいかに

伊野地区西地合海岸にて、島根大学教育学部生と子どもたちと住民による夏の伊野バージョンを開催。みんなでイカダ作りに挑戦しました!

前日に地域の方に作り方を指導してもらった大学生は、伊野小、赤名小、朝陽小からの参加児童を的確に指導し、竹と木をロープで結んで立派なイカダを作りました。出来上がったイカダに乗って、宝さがしゲームに出かけた各チーム。みんなで力を合わせて海に浮かぶ宝を集め、そこに隠された謎解きを見事クリアしました!

お昼は流しソーメン。キュウリにトマト、ゼリー、ミカンとソーメン以外に色々な物が流れてくるので、わいわいキャーキャー大盛り上がり!

他校の児童や大学生と仲良くなった伊野っ子たちは、「離れたくない〜!」と繋いだ手を離そうともしませんでした。

(自主企画事業 まちづくり部)



参加者71名

7/28



いいぞ!伊野いち

6/21

青空の下、今年度第1回目となる伊野いちがコミセンおよび旧JA伊野店前にて開催されました。伊野小5・6年生は開店を待つお客様へ感謝の気持ちを込めて「いいぞ、伊野いち」と「ふるさと伊野」の2曲を披露。そしていよいよ伊野いちオープン。新鮮野菜に魚にしじみ、メダカや幻のちまき「しぼ」などたくさんの伊野の産品が並べられ来場の皆さんに大好評。子どもたちは炊き込みご飯と筍とワカメのすまし汁のふるまいや商品の袋詰め、小学校で採れたじゃがいもの販売など大忙し。活気に満ち溢れ、出品者とスタッフ、お客様が一体となった賑やかな産直市となりました。

次回は10月18日に開催予定です。お楽しみに。



やって未来こい!通信 継続

8/8 ~ 8/12 キャンパー10名(日本人5名、外国人5名)

伊野国際ワークキャンプ開催



国際ワークキャンプとは、世界各国から仲間が集い、その地域で寝泊まりしながら住民と共に活動を行うプログラムのことです。今年は東京、三重、マレーシア、中国、スペイン、モザンビークなどから日本人5名、外国人5名の計10名のキャンパーが参加してくれました。宿泊場

所は古民家たるみ邸。キャンパーらはボランティアの一環として、たるみ邸周辺の溝掃除や伐採、イノシシ防護柵の設置などを行いました。また、中高生との交流会やサ



マーキャンプと称して伊野小児童らと一緒にカレーづくりや花火、ゲームなどで交流し、テントで一泊しました。キャンパーにとっても地区住民にとっても良い交流の場となりました。
(伊野国際ワークキャンプ実行委員会)



親子39名参加

子育て支援部×交流部会

6/9 プチわくわくひろば×たるみであそぼう

伊野やって未来こい!ネットの交流部会と子育て支援部の共催により、古民家の垂水邸でイベントをしました。おしゃべりエンターテイナーゆーきさんをお迎えして楽しい腹話術やマジックショーをしていただきました。不思議なマジックには、目をキラキラ輝かせながら「わあ!」と驚き、楽しんでくれました。その他にも、地元の高校生や英語の先生による読み聞かせや、Horizon珈琲さんによるプチカフェの出店で、子どもも大人も楽しめるイベントになりました。



7/4 平田高校1年生ウイングバスツアー受入

地域協働学習の一環で平田高校1年2組の皆さん40名が伊野に来訪。始めに事務局長の多久和祥司さんが生徒からの質問に答える形式で伊野地区の取組についてお話されました。次に古民家たるみ邸を見学し、地合漁港では漁業会の方から後継者問題についてのお話などを聞き、地域について学び、考えるきっかけとなったようです。



参加者200名超

5/26 第3回ino.ti子どもマーケット開催

こんにちは!ino.ti~中山間地域の未来へ~です!昨年引き続き、第3回目となる「ino.ti子どもマーケット」を5月26日に開催しました。前回同様、伊野小学校の子どもたちや他地域の子供たちも交え大盛況となりました。小さな子どもから大人までが楽しめる内容になっていたと思います。また、この度はボランティアを募集し、地域外から4名の方にお越しいただきました。そして、今回出店にあたり子供たちには収支報告書を作成してもらいました。準備にかかるお金、収入になったお金、そこから見えるお金の重要性や仕事の大切さを出店を通して学びを深めることが出来たのではないかと思います。



子どもマーケットはたくさんのファンがいます。既に次はいつ開催されるのかと待ち遠しいという声も



いただいています。たくさんの方に支えられ、子どもたちが熱くなれるイベントを今後も開催していきたいと思います。

次回をお楽しみに!!

(ino.ti
~中山間地域の未来へ~
代表 兼折 治加)

参加者50名

子育て支援部×ino.ti~中山間地域の未来へ~

7/14 プチわくわくひろば×みんなのじかん



ino.ti~中山間地域へ~の皆さんと子育て支援部と一緒に、大人も子どももそれぞれの時間を大切に「みんなのじかん」を開催しました。当日は朝から雨が降り、当初予定していた外での絵の具遊び



は中止しました。それに代わり、中で大きな紙を使いマジックでお絵描きをしたり、可愛い折り紙で封筒作りをしたり、中で楽しめることをしました。ラムネとサイダーを使ったフルーツポンチショーや、おとなの皆さんに大好評なリラクゼーション体験やカイロプラクティックで楽しんでいただきました。外では雨の中Horizon珈琲さんのドリンク販売や、炭火焼鳥さとりさんによる焼き鳥の販売など、美味しい出店もありました。絵の具遊びのリベンジ開催をしようと思っておりますので、皆さまお楽しみに~♪



7/13 上津みらいの会視察団受入



出雲市上津地区の有志でつくる、上津みらいの会の皆さん8名が伊野地区の取組を参考にしたいと視察に来られました。始めによっ得!?伊野いちを見学。事務局長の多久和祥司さんより産直市誕生の経緯について説明があり、その後古民家たるみ邸にて未来こい!ネット発足の経緯や各部会の活動について説明がありました。課題解決に向けて地域の未来を考える者同士、互いに意見交換を図り、伊野地区にとってもよい刺激を受けました。

地域おこし協力隊

あさ えだ しょう こ

朝枝尚子 さん



朝枝◎協力隊の
出雲伊野暮らし

【雲州平田
木綿街道視察レポート】

★ 連載 一第11回一

残暑お見舞い申し上げます。年々夏が暑くなり怖いくらいですが、いかがお過ごしでしょうか。先日のごと、出雲市観光課主催の地域別観光戦略会議の一端で平田木綿街道のバックヤードツアーに参加してきました。案内して下さったのは(一社)木綿街道振興会で立上げ当初から中心になって関わっておられるスタッフの方。ツアーに参加してまず感じたことは、私自身、平田や木綿街道の歴史、振興について知らないことばかりだったということです。出雲大社参拝の重要な拠点だったこと。平田で木綿産業が発達し衰退していった理由や今現在に木綿の名残がない理由。本物を残し未来へとつなげようとする作り手の努力が色濃く残っていることなど、とても興味深いお話を聞くことが出来ました。後半では木綿街道の建築物や醤油・酒などの醸造所、宿泊施設などを見せていただきました。立派な建築物が多く、まさに地域の重要な文化的資源だと感じました。印象的だったのは、「大勢のお客様に来てもらいたいわけではない。自分たちが大切にしている、この木綿街道の価値を分かってもらえる人に来てもらいたい。そのためのサービスの提供と仕組みづくりを大切にしています。」という言葉でした。その考え方は地域作りにおいても通じるものがあるのではと思いました。



NIPPONIA出雲平田木綿街道

和ハーブのススメ 8月

守っていききたい！秋の七草

和ハーブのススメ、今回のテーマは“秋の七草”です。夏の盛りの今の時期から楽しむことのできる秋の七草は春の七草に比べると認知度が低く、“見て楽しむ”というイメージです。ですが、葉草として利用されてきたものも多く、春の七草より和ハーブらしいと思うのです。そんな秋の七草がスラスラと出てくるという人は少ないと思います。私も毎年、今の時期に復習が必要(笑)。「オミナエシ」「ススキ」「キキョウ」「カワラナデシコ」「フジバカマ」「クズ」「ハギ」。いかがですか?秋の七草は陽当たりのよい場所を好むため、森のなかというよりは人の生活圏の近くに 있습니다。そのため外来種や除草剤、草刈りの影響を受けやすく、絶滅が危惧されているものも少なくありません。美しい花火のようなピンク色の花が愛されるカワラナデシコや、星型で青紫色の花(私はヒトデみたいだと思うのですが...)を咲かせるキキョウ。乾燥させると桜餅の香りがして、古くから浴剤として利用されてきたフジバカマも今ではなかなか自然の状態で見ることが少ないです。無くなってしまったものを元に戻すのはとても難しいことなので、意識して残す努力が必要なのだと思います。子どもや孫が大人になった時、「秋の七草」という言葉が幻になっていませんか?と願っています。そしてどなたかゴロのいい並びや覚え方のコツがあれば教えてください。



ハギの花

プチわくわくひろば

5/9 15名参加

cooking! 親子で作ろう! 手打ちうどん



親子で一緒に楽しくクッキングをしよう!と、4組12名の参加者とスタッフ3名で手打ちうどんを作りました。材料は、小麦粉・塩・水の3つだけ!こねたり踏んだりする作業が子ども達には楽しいようで、変化していくうどんの感触を感じながら、楽しんで作業していました。伸ばして、切って、茹でて、美味しいうどんの出来上がり!自分で作ったうどんは格別!「美味しかった!」「またお家でも作りたい!」などと、参加者の皆さんに喜んでいただきました。(自主企画事業 子育て支援部)



こみカフェ 毎月第4木曜日

参加者 延べ86名

手作りお菓子と飲み物をお供に、住民が月に一度交流する「こみカフェ」。伊野地区のこみカフェは、お喋りだけでなくカードゲームや歌を歌っています。6月には、地域の活性化のためにカフェを開きたいという伊野小6年生8人が視察にやってきました。「なぜ参加されるんですか?」「メニューはどうやって決めているんですか?」など、次々に質問が。もしかししたら、秋に子どもたちの開くカフェがオープンするかもしれませんよ。その日を想像すると、今からワクワクしますね。



(自主企画事業 健康福祉部)

伊野小2年生 まち探検

6/26 6名来館

毎年恒例のまち探検。今年も元気いっぱい6名の児童がコミセンをたずねてきました。始めに館内を見学。物置にある防災用品やおもちゃなどに興味津々の様子。そして館内でクラブ活動をしている地域の皆さんとも元気よくあいさつを交わしていました。最後はセンター長からコミセンの説明を聞いたあと、各自質問をしていました。コミセンを知ってもらうよい機会となりました。



消防訓練実施

8/2



コミセンでは年2回の消防訓練が必須となっています。この日は調理室から火事が起こった想定で避難訓練を実施。合わせて水消火器による消火訓練も行いました。火災を起こさないことが一番大事ですが、万が一の時に慌てないためにも今後も継続して訓練を実施していきます。



海洋ゴミからSDGsについて考えよう!

サマーボランティア実施

7/22

参加者60名超

飯南町社会福祉協議会主催によるサマーボランティアスクールが伊野地区で開催され、飯南町の小中学生27名と関係者の皆さん9名が伊野に來られました。地元からは伊野小児童13名と朝陽小、塩冶小からも3名の参加がありました。午前は西地合海岸へ。14日の海岸清掃が中止となり、海岸は一面たくさんのゴミで溢っていました。炎天下での作業でしたが全員で40分ほどゴミ拾いを行うと様子も激変しました。午後は県庁の方から海洋ゴミについてのお話を聞き、プラスチックが及ぼす影響について考えたりゴミをなくすために私たちにできることを考え、発表しました。最後に海岸で拾ったガラスやプラスチック片などを使って万華鏡を作りました。昼食には有志の皆さん手作りの御馳走をいただき一同大満足。この日、地区を越えてみんなで楽しく環境について学ぶことができました。携わってくださった関係者の皆さん、ありがとうございました。



(環境保全連合会伊野支部)



祝! 全国大会出場

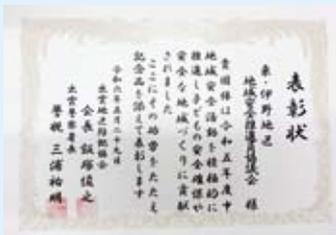
向陽中3年の多久和竜空さん(松枝町内)が7月19日に行われた島根県中学校総合体育大会陸上競技の部男子3000mにおいて全国標準記録を突破し、見事優勝。21日に行われた男子3年1500mでも全国標準記録を突破、さらに県中学記録も更新し、優勝。8月8~9日に岡山県で行われた中国大会と8月19日に福井県で行われた全国中学校総合体育大会にも出場されました。数々の大会での活躍、おめでとうございます。今後もますますのご活躍をお祈りしています。



東・伊野地区 地域安全推進協議会表彰される

5/29

小境駐在所館内にある東・伊野地区の地域安全推進員さんは地域において2か月毎に自転車の鍵かけチェックや特殊詐欺被害防止の呼びかけをしておられます。また小学校の防犯教室にも参加され、子どもの安全確保や安全な地域づくりに貢献なさっています。このたびその功労が称えられ同協議会が表彰されました。推進員の錦織自治協会会長さん、常松士郎さん(西上)のご尽力に感謝いたします。



ハート♥のジャガイモ ができました!



山本ゆき子さん(金森)の畑でとれたじゃがいも。なんとも珍しいハート型です。見ただけで幸せが訪れそう。コミセン窓口に展示しています。皆さんぜひ見に来てください。

大畑フラワーランド花盛り



多久和幸広さん(大畑)を中心に大畑町内の有志の皆さんが耕作放棄地を花畑として甦らせ、黄色いひまわりと色鮮やかなジニアのコントラストが夏らしく、とても明るい花畑になりました。

邑南町布施(銭宝)地区視察研修

6/30

参加者32名



運営委員・事業委員・未来こい!ネット合同で視察研修を実施。銭宝地区別戦略実行委員会の品川委員長より

銭宝地区の現状と取組についてお話を伺いました。銭宝地区では平成31年に生活支援を行う「銭宝の暮らし応援隊」を結成。空き家を改修して住民の寄り合い処を開設し、サロンや運動教室、フリーマーケットなどを開催。また高齢者支援のため草刈や除雪の支援、配食サービスなどを行う有償ボランティア制度も設立。ひきこもり防止や介護予防に力を入れておられます。一方、担い手育成に危機感を感じているようで今後は課題解決に向けて取り組んでいくそうです。伊野と環境も似ていることから銭宝の取組を参考にしながら伊野のまちづくりに生かしていきたいと思います。

(コミセン運営委員会・事業委員会)

第67回

島根県消防操法大会 の開催について

7月7日(日)、島根県消防学校において第67回島根県消防操法大会が開催されました。出雲市消防団



からは出雲方面隊、平田方面隊、大社方面隊の3隊が出場し、県下から参加した全18隊により日頃の訓練の成果を競い合いました。

今大会、平田方面隊は平田11分団より、一名づつ代表を選出し、伊野からは2部より奥村道弘さん(畑町内)が、代表として平田方面隊に参加いたしました。大会当日は、真夏並みの炎天下に加え、強い西風が吹く厳しいコンディションの中、横風によりホース展張や放水への影響を受けながらも、各出場隊ともに素晴らしい操法を披露されました。

大会の結果は、平田方面隊第9位と惜しくも優勝には手が届きませんでしたが、これまで積み重ねてきた消防技術を遺憾なく発揮されたと思います。皆様には応援いただきありがとうございました。

(伊野消防団分団長 岩成 潤)